



2023年11月10日

各位

会社名 光村印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 嶋山 芳夫
(コード: 7916 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経理本部長 藤川 和典
(Tel. 03-3492-1182)

特別利益及び特別損失の計上並びに 2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

1. 特別利益の計上

当社はグループ全体のオフセット印刷の生産性を高めるため、川越工場の機能を狭山工場に移転・集約を進めております。それに伴い、老朽化した印刷機械等の売却を行うことにより、特別利益に固定資産売却益1億5百万円を計上いたしました。

2. 特別損失の計上

上記1に記載いたしました移転に伴い、特別損失に移転関連費用83百万円を計上いたしました。

3. 2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異

2023年5月12日に公表した2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	50	80	0	0.00
実績値(B)	6,981	△125	△56	△76	△25.13
増減額(B-A)	△219	△175	△136	△76	-
増減率(%)	△3.0	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	7,096	△157	△123	△278	△91.03

差異の理由

当第2四半期累計期間においては、電子部品事業が水晶関連業界への売上が減少し、利益面では印刷事業における包材部門を中心とした原材料費や燃料費の高騰の価格転嫁が想定通り進みませんでした。その結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回ることとなりました。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的だと判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上